

「地域における関わりしろの作り方」

～地域における外部人材の受入れについて考える～

地域づくりの担い手の減少などにより、「思うように活動ができない」または「活動が一過性なものになってしまう」などの悩みが増えている中、地域外の人材と連携した地域づくりの事例が注目されています。

本研修会は、地域の想いや熱意に共感する地域外の人材との継続的な関係を築き、地域の担い手として協働していただくことを今後の選択肢の一つとしていくために、「外に開かれた地域の在り方」について、講師の方々からの発表を踏まえ、考察を深めることを目的に開催します。

日時

3月22日（火曜日） **14:00 - 16:30**

開催方法

オンライン（Cisco Webex Meetings）

参加申込

・申込期限：**3月17日**（木曜日）**14:00** まで

・指定の様式（参加申込票）に記入の上、裏面の提出先まで電子メールにて送付ください。

※登録後、参加に必要なURLを送付いたします

■次第

1. 開会(挨拶)

2. 講演① 「複業という地域のつながり方～働き方と地域の新たな関わり～」



ワーク デザイン ラボ
一般社団法人 Work Design Lab 代表理事／複業家

石川 貴志 (いしかわ たかし)

- ・ 都内の企業に勤めながら“複業”として法人設立。全国各地の地域づくり活動に携わる
- ・ 地域を超えて複数の仕事やライフスタイルを持つ重要性や、「外から関わる人」目線での開かれた地域について事例を踏まえて発表。

3. 講演② 「共感社会における地域の在り方～関係人口のその先へ～」



一般財団法人 地域活性化センター 新事業企画室長

吉弘 拓生 (よしひろ たくお)

- ・ ラジオアナウンサーや群馬県下仁田町 副町長など、多様な経歴を持ち、地域内外の人材を巻き込みながらそれぞれの良さを活かした多数の地域づくりに携わる。
- ・ 「地域の受け皿づくり」の中で、どのような点に気を付けたのかについて事例を踏まえて発表。

4. 質疑応答

5. 閉会

(予定は変更の可能性あります)

■講演者紹介

ワーク デザイン ラボ
一般社団法人 Work Design Lab 代表理事／複業家

石川 貴志 (いしかわ たかし)

広島県福山市出身。リクルートエージェント(現 リクルート)の事業開発部門のマネージャー等を経て、都内事業会社の経営企画部門に転職。会社員の傍ら2013年に(一社)Work Design Labを設立。全国各地の企業や自治体とのプロジェクトを数多く手掛ける。



【活動紹介】

Work Design Labには現在、首都圏大企業社員を中心に約150名のメンバーが所属。

組織の枠を越えた「複業」という働き方を実践する一方で、「地域に貢献したい」という熱意ある働き手をマッチングさせる取組みを実施。個人が生き活きと働き、社会に新しい価値を生んでいくために、働き方という視点から様々な支援を行う。

「総務省 地域力創造アドバイザー」や「観光庁 新たな旅のスタイル事業アドバイザー」、「(公財)ひろしま産業振興機構 創業サポーター」なども務める。

一般財団法人 地域活性化センター 新事業企画室長

吉弘 拓生 (よしひろ たくお)

福岡県久留米市出身。大学在学中にラジオアナウンサー・イベントMCなどを経験。福岡県うきは市職員等を経て、群馬県下仁田町副町長に就任(就任時は日本最年少副町長)。現在は、(一財)地域活性化センターの新事業企画室長として、ワクワクする地域づくりを担う人材の育成に取り組んでいる。



【活動紹介】

地域資源を活かした交流人口・関係人口の増加、地域資源のブランド化等のアドバイスの他、各種人材育成、講演活動を行う。

うきは市役所時代には、観光バスツアー誘客、シティプロモーション、地方創生を推進。JR九州の豪華寝台列車「ななつ星in九州」の歓迎行事を成功させた。

2015年に群馬県下仁田町副町長に就任し、「まちづくりは人づくり」をモットーに、各種施策を立案。特に「ねぎとこんにやく下仁田奨学金」プロジェクトは、企業版ふるさと納税制度の特徴的事例として内閣府が紹介。

■参加申込み提出先・全体の問い合わせ先について

香川県 政策部 地域活力推進課

総務・地方創生グループ 田岡

Mail : hz0155@pref.kagawa.lg.jp

TEL : 087-832-3105 (直通)